

令和5年度「えとぴりか」一般公開

【実施報告書】



令和5年11月

独立行政法人北方領土問題対策協会 交流担当

目的

北方四島交流等事業使用船舶「えとぴりか」を北方四島交流等事業だけではなく、国民一般に対する啓発事業に利活用し、北方四島交流等事業や北方領土問題に関する理解・関心を広げ、北方領土返還要求運動の裾野の拡大や機運の醸成を図ることを目的として実施

実施日時・場所

◎根室港本町岸壁

令和5年10月	7日(土)	12:00~17:00
	8日(日)	8:30~14:30

※荒天による影響で両日とも中止

◎横浜新港ふ頭9号岸壁

令和5年10月20日(金)	13:00~17:00
21日(土)	10:00~17:00
22日(日)	10:00~15:00

◎神戸港中突堤D岸壁

令和5年10月28日(土)	10:00~17:00
29日(日)	10:00~15:00

◎別府港第2ふ頭南

令和5年11月	4日(土)	10:00~17:00
	5日(日)	10:00~15:00

※最終受付はいずれの港も終了30分前

対象者

参加条件なし(参加費用・事前登録なし)

実施内容

- ・船舶は離岸せず、船内に順路を設定し停泊中の船内を見学
- ・船内の順路に北方領土問題に関するパネルを展示
- ・来場者向けの参加型イベントとして、スタンプラリー及びフォトスポットを実施
- ・2階客室（203及び206号室）、2階男性浴室、4階病室、操舵室を公開
- ・食堂兼集会室に北方領土返還要求署名及びアンケートコーナーを設置
- ・記入済アンケートと引き換えに記念品（数に限りあり）を提供

※船内順路：

タラップを使用し3階から乗船→受付→2階（パネル展示及び客室・浴室公開）→3階を通過し4階（病室・操舵室公開）→3階（食堂兼集会室：北方領土返還要求署名・アンケートコーナー、記念品提供）→タラップから下船

※船内では、基本的な感染症対策（手指消毒等）を依頼

来場者数

横浜港…… 3, 274人（3日間計）
神戸港…… 2, 424人（2日間計）
別府港…… 518人（2日間計）
3港合計… 6, 216人

署名数

横浜港…… 387件（3日間計）
神戸港…… 340件（2日間計）
別府港…… 91件（2日間計）
3港合計… 818件

アンケート回答数

横浜港…… 2, 811件（3日間計）
神戸港…… 894件（2日間計）
別府港…… 365件（2日間計）
3港合計… 4, 070件

一般公開実施時の様子

岸壁及び受付周辺



■「えとぴりか」が接岸しているの岸壁では、周辺の歩行者に対して一般公開会場が分かりやすいよう、立て看板を配置するとともに、エリカちゃん等の着ぐるみによる誘客を行うことで、視認性を高めました。

■また、船のタラップ下では、整列用の赤コーン等を設置するとともに、スタッフが列の最後尾を案内し、来場者に対して順番に乗船を依頼することで、乗下船時の安全性を高めました。

一般公開実施時の様子

北方領土問題に関するパネル展示（2階及び3階）



■ パネルは、「北方領土問題の基礎知識」をスタートとして、面積や距離、自然等の「北方領土はどんなところ」、北方領土の開拓などの「北方領土の歴史」、これまでの「外交交渉」、北方四島交流事業などの「北方領土の返還を求めて」の分類順に設置するとともに、見学順路を矢印で示した案内サインを各所に表示することで、船内を見学すると同時に北方領土問題についても順序よく学習できるようにしました。

一般公開実施時の様子

客室及び浴室の公開



■ 2階にある客室のうち、4人部屋の206号室（写真上段）、8人部屋の203号室（写真中段）は、室内にブルーシートを敷き、部屋を隅々までご覧いただけるようにしました。

■ 浴室（写真下段）についても更衣室までブルーシートを敷き、浴室の様子を間近でご覧いただけるようにしました。

一般公開実施時の様子

病室、操舵室及び食堂兼集会室の公開



- 今年度は、4階の病室（写真上段）の公開に加え、普段入ることのできない操舵室（写真中段左）も公開しました。
- 見学順路の終盤では、3階食堂兼集会室（写真中段右・写真下段）も公開し、ここでアンケート等も記入いただけるようにするとともに、ウォーターサーバーを自由に利用いただけるようにし、休憩場所としても開放しました。

一般公開実施時の様子

参加型イベントの実施



※記念品（北方領土啓発グッズ袋詰めセット）の一例



- 船内見学に加え、来場者が楽しんで北方領土問題に触れ合うことができる参加型イベントとして、スタンプラリー（写真上段）を実施しました。
- 他にも、北方領土問題に関する応援メッセージコーナー（写真中段左）や、船長衣装を試着しての記念撮影所（フォトスポット・写真中段右）を設置した他、来場者には乗船記念品として北方領土啓発グッズの袋詰めセット（写真下段右）を提供しました。

一般公開実施時の様子

署名及びアンケートコーナーの設置



■ 船内見学順路の終盤となる3階食堂兼集会室に北方領土返還要求署名コーナー（写真上段）及びアンケートコーナー（写真下段）を設置しました。

■ 署名コーナーでは、署名のご協力の呼びかけを行い、横浜・神戸・別府の3港合計で800人以上の方にご協力いただきました。

■ アンケートコーナーでは、性別や年齢といった基本情報に加え、一般公開を何で知ったかや本イベントに参加する前と後で北方領土問題に対する理解や関心が深まったか等について来場者に記入いただきました。

■ アンケート記入にご協力いただいた来場者には、記入済アンケートと引き換える形で乗船記念品（前ページ写真参照）を提供しました。

一般公開を終えて

根室港一般公開では荒天による高波の影響で中止となりましたが、横浜港・神戸港・別府港一般公開ではいずれの日程も天候に恵まれ、横浜港で3,274人、神戸港で2,424人、別府港で518人と、3港合計で6,000人以上の方々に来場いただきました。

事業当日は、小さいお子さんを連れた家族連れの方や若者、船舶ファン等、老若男女問わず様々な方が「えとぴりか」に乗船され、北方領土問題に触れていただいたことで、来場者からも「このような船があることを知らなかった」や「北方領土問題を知る良い機会になった」といったご意見を多数頂きました。

最後に、想定より大変多くの方のご来場に恵まれましたが、特段の怪我人やトラブルもなく各日程を盛況に終わられたことについて、来場者をはじめ、本事業にご協力いただいた皆様に心より御礼申し上げます。

